

大分大学・別府大学・大分県立芸術文化短期大学 公開講座

# 多文化

## 共生社会のために



古代ローマ帝国と近代のハプスブルク帝国の光と影を歴史的な参照枠としつつ、さらには現代フランスにおけるマイノリティの問題やドイツのマス・メディアに現われた日本（人）像をたどることなどによって、異なる文化を相互に理解し、異なる文化を生きる人々の人権を尊重する社会の構築のために何が必要かを考えます。

# 多文化共生社会のために

異なる文化を相互に理解し、異なる文化を生きる人々の人権を尊重する社会をどのように構築するかは現代社会の大きな課題のひとつです。

歴史上有名な多文化社会であるローマ帝国とハプスブルク帝国、更に現代フランスやドイツなど、ヨーロッパを例にこの課題について考えてみましょう。

## 第1回 多文化社会としてのローマ帝国

多文化社会でありながら、一つに統合されていたローマ帝国について考える。

- 日程／11月6日（土）
- 講師名／山本 晴樹（別府大学）

## 第2回 多民族国家としてのハプスブルク帝国

近代のハプスブルク帝国における民族協調の理想と現実と迫る。

- 日程／11月13日（土）
- 講師名／高瀬 圭子（大分県立芸術文化短期大学）

## 第3回 フランスにおけるマイノリティ

移民問題を手掛かりに、今後のフランス社会の行方を探る。

- 日程／11月27日（土）
- 講師名／安田 俊介（大分大学）

## 第4回 ドイツのマス・メディアに現れた日本（人）像

日本の主婦は幸せな〇？政治家は〇流？ドイツの「仰天」報道を点検する。

- 日程／12月11日（土）
- 講師名／安岡 正義（大分大学）

- 時間／14：00～15：30
- 場所／大分県立芸術文化短期大学 人文棟  
（大分市上野丘東1番11号）

- 対象／一般市民（40名程度）
- 受講料／無料
- 申込締切／各講座の開催日の一週間前まで



### 申込み・問い合わせ先

大分大学 イノベーション機構  
リサーチ・ファクトリー  
〒870-1192 大分市大字且野原700番地  
TEL 097-554-7021  
FAX 097-554-7740  
Mail research@cc.oita-u.ac.jp

### 講座への申込み

- ・申込書に必要な事項を記入して、FAX・郵送いただくか、電子メールに申込書の情報を記入してお申込み下さい。
- ・電話では受け付けできません。
- ・申込が多数の場合は、抽選とさせていただきます。受講可・否の結果は、申込締切後1週間以内にお知らせいたします。受講可能な場合は、連絡事項や会場案内などを郵送いたします。

<<切り取り線>>

申  
込  
書

平成22年度 大分地域大学等連携講座 大分大学・別府大学・大分県立芸術文化短期大学 公開講座 受講申込書				受講希望に ○印
講座名 ※希望される講座番号 に○を付けて下さい。	第1回	11 / 6	多文化社会としてのローマ帝国	
	第2回	11 / 13	多民族国家としてのハプスブルク帝国	
	第3回	11 / 27	フランスにおけるマイノリティ	
	第4回	12 / 11	ドイツのマス・メディアに現れた日本（人）像	
ふりがな 氏 名				性 別 男・女
住 所	〒			
連絡先 (必ず記入)	TEL	( )		

\* この申込書は、講座の実施において必要な書類(名簿等)の作成のほか、その他講座のご案内に関する資料として利用します。  
\* 受講風景の写真撮影、ならびにホームページに掲載させていただく事を、予めご了承下さい。